



博物館通信

秋号

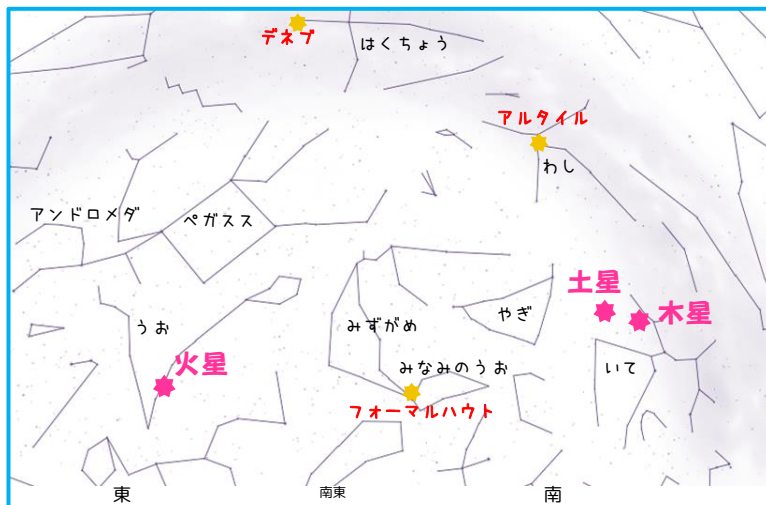


2020年10月発行 Vol.77

赤く輝く火星!!

今年の秋は、火星の観察がおすすめ!!

10月6日に火星が地球に最も接近します。なので、最接近前後の9月上旬から11月上旬まで明るさが-2等ととても明るく輝いて見えます。また、南西の空では、11月中旬ごろまで木星と土星が輝いているのを見ることができます。



10月6日20時ごろ (ステラナビゲータで作成)

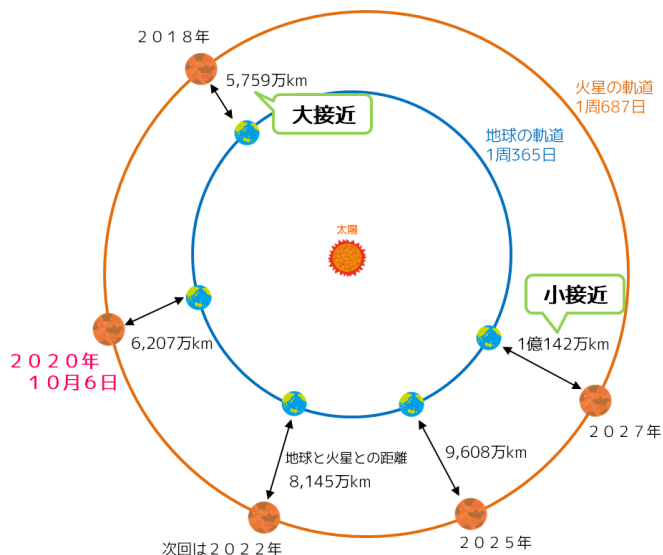


火星の接近って??

火星は、地球のひとつ外側をまわっている惑星です。地球は太陽の周りを365日で一周しますが、火星は687日かけて一周します。地球の方が早く一周するため、2年2か月ごとに火星に追いつき、追い越します。このとき、地球と火星が近くなることを「接近」と呼びます。

太陽の周りを回る地球の軌道はほぼ丸い円ですが、火星はだ円形をしています。そのため、接近する場所によって地球と火星の距離が近いところと遠いところがあります。距離が近くとても明るく見えるときを「大接近」、遠く目立たないときを「小接近」といいます。

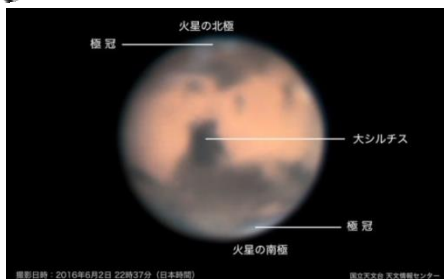
前回2018年の接近は、約5,700万km近づく“大接近”でした。今回は前回には及びませんが、距離が約6,200万kmまで近づくため、明るく輝く火星を見ることができます。



接近時の地球と火星の位置



望遠鏡での観察ポイント



① 表面の色

肉眼でも赤く輝いている惑星として見えるのは、表面の岩石や砂に赤さびが多くふくまれており、表面の色が赤いためです。

② 極冠

火星の南極と北極にある白い部分。水の氷やドライアイスできており、火星の季節によって大きさがかわります。今は、南極の「南極冠」が見えています。しかし現在、火星の季節は夏にあたり、極冠は小さく、接近のころに見ることはできません。

③ 大シルチス

表面の地形や岩石の成分のちがいがから黒っぽいように見える部分があります。そのなかで、大きくわかりやすいものを「大シルチス」といいます。

はやぶさ2
最新
ニュース



はやぶさ2
©JAXA

12月6日に帰還!!

小惑星「リュウグウ」で採取した岩石などが入っているカプセルが地球に帰ってきます!!

カプセルは、はやぶさ2よりオーストラリアの砂漠に落とされ、回収されます。カプセルを切りはなしたはやぶさ2はその後、別の小惑星探査に向かっていく予定です。

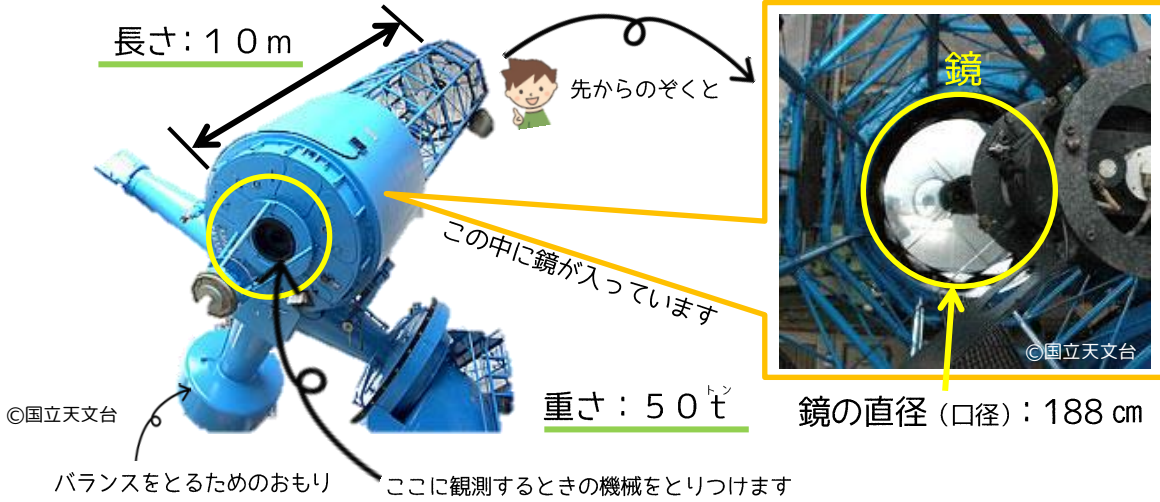


国立天文台

188cm 反射望遠鏡 & 岡山天文博物館 60 周年



★ 188cm 反射望遠鏡の特徴 ★



©国立天文台

©国立天文台

★ まめ知識

- ① ナナヨン
鏡の直径が 188 cm なので、「188 cm 反射望遠鏡」と呼びますが、研究者には「74(ナナヨン)」と呼ばれています。188 cm をイギリスの単位 inch(インチ)に直すと「74inch」だからです。
- ② この望遠鏡
同じ会社が作った同じ形の望遠鏡がカナダ、フランス、エジプト、南アフリカにもあります。火事でなくなりましたが、以前はオーストラリアにもありました。
- ③ 蒸着作業
鏡にちりやほこりなどがつくため、年に 1 度、鏡の掃除を行います。

188 cm 反射望遠鏡は、イギリスの「グラブ・パーソンズ社」によって作られた望遠鏡で、イギリスから船とトラックで運ばれてきました。完成には 5 年かかっており、建物も合わせて約 3 億円 (60 年前の値段) のお金がかかっています。完成当時は、東洋一の口径をほこっており、現在は国内で 3 番目に大きな望遠鏡です。

望遠鏡には、星の光が 1 点に集まる点「焦点」があります。188 cm 反射望遠鏡はニュートン焦点、カセグレン焦点、クーデ焦点という 3 つの焦点があり、観測する目的によって使い分けています。



「焦点」について調べてみてね!!
博物館にも焦点のちがいを学べる展示があるよ。



イベント情報

※詳しくは当館 HP をご覧ください

10/24 (土)

開館 60 周年記念講演② 電波× 光の最新天文学 —水沢と浅口からのぞく宇宙—

YouTube「岡山天文博物館チャンネル」でライブ配信します!!
ブラックホールの撮影に成功した電波望遠鏡の研究成果や 2 つの「天文台のまち」で進められている最新の研究をご紹介します

11/7 (土)

京都大学岡山天文台 特別公開 2020

インターネット動画配信にて、京都大学岡山天文台「せいめい望遠鏡」の紹介などを行います!!
なかなか聞けない研究者の話も聞けるかも?!



プラネタリウム秋番組

「小惑星探査機 はやぶさ 2

太陽系の起源を探る大いなる冒険」

太陽系や生命が誕生した謎を解き明かすため、小惑星「リュウグウ」を探索した小惑星探査機「はやぶさ 2」について紹介します。探査機「はやぶさ 2」は、世界初となるミッションをいくつも成功させ、リュウグウ表面の砂や岩石の採取も行いました。そして、それらサンプルを持って今年 12 月に地球へ帰還予定です。帰還前に数々のミッションや「はやぶさ 2」について実際の映像や CG で振り返りましょう!!



岡山天文博物館

〒719-0232
岡山県浅口市鴨方町本庄 3037-5
TEL/FAX 0865-44-2465

<http://ww1.city.asakuchi.okayama.jp/museum>

